

令和元年度 海洋科学高等学校 実習船不祥事ゼロプログラム

1 実施責任者

校長を海洋科学高等学校実習船不祥事ゼロプログラムの実施責任者とし、各船の船長を実施主体者とするとともに、副校長、教頭及び事務長がこれを補佐するものとする。

2 目標及び行動計画

「平成 30 年度海洋科学高等学校 不祥事ゼロプログラム」に則り、湘南丸、わかしおの安全運航に努め、実習を安全で円滑に実施し、関係機関・地域等との相互協力の上で事故を防止する。

3 重点項目

(1)実習船の円滑な運航と事故・不祥事防止

- ① 海難事故の検証と各種国際規準の周知徹底と対応、操練等の実施を進める。
 - ・最近の海難事故を検証し、海難防止に役立てる。
 - ・保安計画に基づき、保安教育・訓練・演習等を行い、保安維持に努める。
 - ・NTVRP（油濁防止対応計画書）の理解を深め、対策訓練を実行する。
 - ・船舶廃棄物汚染防止規定の遵守について、組織的に対応する。
- ② 乗組員及び生徒の健康管理と維持並びに指導体制の検証
 - ・健康診断による健康チェック、自己健康管理を徹底する。
 - ・乗船前における生徒の健康診断の確実な実施を徹底する。
 - ・乗船生徒の心身状態に応じた丁寧なケアにあたる。

(2)公務外不祥事防止

- ・公務外における不祥事の事例について意見交換等を含め、意識の啓発にあたる。
- ・入港地や寄港地での不祥事・事故防止に係る問題点の把握と対策の立案を進める。
- ・停泊中などにおける自己規制の徹底を図る。

(3)乗組員の資質向上

- ・生徒個人情報収集規定及び守秘義務の厳守について、一層の徹底を図る。
- ・不祥事・事故防止の観点からも、指導法の研究及び指導技量の向上を図る取組を進める。

4 行動計画

(1)湘南丸

乗組員は、船内会議（毎月 1 回）の後に不祥事防止についての研修会を行う。

- | | |
|--------|--|
| 4 月 | 遠洋航海実習前、不祥事・事故防止の徹底 |
| 5 月 | 航海中の不祥事・事故防止の徹底 |
| 6 月 | 不祥事ゼロプログラムの周知 情報セキュリティ点検 |
| 7・8 月 | 円滑かつ安全な運航と事故防止について研修の実施
操練（避難訓練）や各種国際規準の周知と徹底など |
| 9・10 月 | 乗組員の資質向上についての研修を実施し、不祥事防止に係る意識の強化と、 |

- 実習指導能力の向上を図る
- 11・12月 公務外不祥事等についての研修実施
各実習における課題の再検討
- 1・2・3月 検証（実習船関係職員、実習船乗組員）
実施結果のまとめ作成（事故防止委員会）
課題検討
次年度への要望とテーマ等の調査

(2) わかしお

わかしお乗組員は、校内職員研修に参加する。

毎月1回、「わかしお会議」を実施する。学校勤務の実習船関係職員と協働し、実習内容の充実と事故防止について、意見交換と対策等の具体化を図る。